発注者用チェックリスト出力・確認機能について

COBRIS 入力データの精度向上を図るため、排出業者が入力したデータについて発注担当者がデータのエラーを容易に把握するとともに、エラーがあった場合の修正依頼、修正結果を確認できる機能を追加しました。

【機能概要】

(1)搬出先調査チェックリストの出力機能 工事情報検索(文字)検索より、搬出先調査チェックリストの出力を行う機能。

(2)排出業者へ連絡機能

自機関の発注した登録工事のうち、エラーと思われる工事について、システム上から「排出業者へ連絡」を行う機能。また、補助機能として、「排出業者へ連絡」を行うと同時に発注者から依頼がある旨を知らせる、電子メールをシステム上から送信することができる。

(3) 確認済みマークの付与機能

自機関の発注した登録工事確認後、問題がない場合に「確認済みマーク」の付与を行う機能。 発注者で「確認済みマーク」ボタンをクリックすることで、排出業者へ該当工事が「確認済みマーク」が付与されたことを知らせる、電子メールをシステム上から送信することができる。

【操作方法】

- (1) 搬出先調査チェックリストの出力機能
 - ① JACIC 建設副産物情報センターのホームページ(以下、URL)を表示します。(URL) http://www.recycle.jacic.or.jp/
 - ② 副産物システム(COBRIS)にログインします。画面上部の[副産物システム]ボタンをクリックします。
 - ※「一般発注者用」電子証明書が設定されていない場合、ログインできません。
 - ③ 工事情報検索「文字)をクリックします。



④ 工事・文字検索条件設定を行います。

確認したい工事の検索条件を設定します。条件設定後、「確定」ボタンをクリックします。基本的に、検索結果一覧画面で、排出業者への連絡、工事データの修正・削除の行える工事は自機関の発注した工事のみになりますので、検索条件の発注機関選択では、なるべく自機関を選択することを推奨します。

⑤ 搬出先調査チェックリストの出力を行います。

検索が行われた工事一覧について、搬出先調査チェックリストの出力を行います。以下の各出力形態からの出力方法を参照してください。また、搬出先調査チェックリストは1工事あたりの上位調査区分のみのチェックを行いリストで出力されます。

[出力形態]

- ・工事一覧(文字)画面に表示されている工事のうち、選択した工事の搬出先調査チェックリストの出力を行う。 →⑥へ
- ・設定した検索条件で検索された全ての工事の搬出先調査チェックリストの出力を行う。 $\rightarrow 7$ へ
- ・「排出業者へ連絡」機能に搭載されている「チェックリスト出力」ボタンより搬出先調査チェックリストの出力を行う。 →8へ

※上位調査区分とは?

調査区分について、計画より実施が上位であることとし、1 工事で登録されている上位の調査区分のみを指します。

例: 計画と実施が登録されている工事 = 実施 計画のみ登録されている工事 = 計画 ⑥ 選択した工事の搬出先調査チェックリストの出力を行います。

工事一覧(文字)画面に表示されている工事のうち、搬出先調査チェックリストの出力を行いたい工事の出力項目にチェックを行い、「各種書類の印刷」ボタンをクリックします。各種種類の印刷画面が表示されましたら、「搬出先調査チェックリスト」にチェックし、「確定」ボタンをクリックして、搬出先調査チェックリストのダウンロードを行ってください。

工事一覧(文字)画面で選択した工事の上位調査区分についての搬出先調査チェックリストが出力されます。



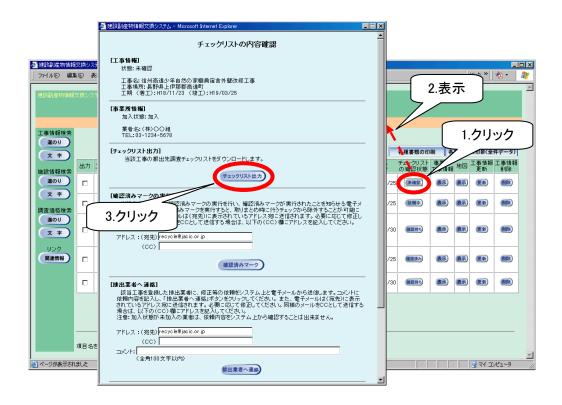
⑦ 設定した検索条件で検索された全ての工事の搬出先調査チェックリストの出力を行います。 工事一覧(文字)画面右上の「各種書類の印刷(全件データ)」をクリックします。各種種類の 印刷(全件データ)画面が表示されましたら、「搬出先調査チェックリスト」にチェックし、「確定」 ボタンをクリックして、搬出先調査チェックリストのダウンロードを行ってください。

設定した検索条件で検索された全ての工事の上位調査区分についての搬出先調査チェックリストが出力されます。



⑧ 設定した検索条件で検索された全ての工事の搬出先調査チェックリストの出力を行います。 「チェックリストの確認状態」項目のボタンをクリックし、チェックリストの内容確認画面が表示 されましたら、「チェックリスト出力」ボタンをクリックします。

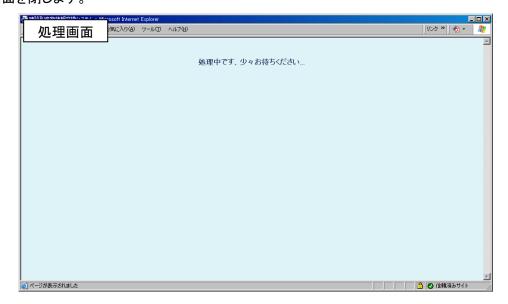
該当工事の上位調査区分についての搬出先調査チェックリストが出力されます。

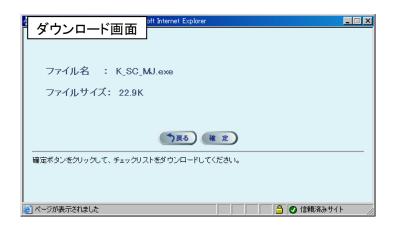


⑨ 搬出先調査チェックリストのダウンロード

各出力形態からチェックリストの出力を実行すると、処理画面に画面が遷移し、処理が完了すると搬出先調査チェックリストのダウンロード画面が表示されます。

ダウンロード画面が表示されましたら、[確定]ボタンをクリックし、ファイルのダウンロードを行ってください。ファイルのダウンロード完了後、[戻る]ボタンをクリックすることで、ダウンロード画面を閉じます。





⑩ 搬出先調査チェックリストの閲覧

上記で指定したフォルダ内に、搬出先調査チェックリスト(PDF 形式)がまとめて圧縮された 自己解凍型の「K_SC_MJ.exe」又は「CKL_(USER_ID).exe」で保存されます。該当のファイルをダ ブルクリックすることで、同一フォルダ内に搬出先調査チェックリストが出現します。各搬出先 調査チェックリスト(PDF 形式)は、Acrobat を利用して内容を確認することができます。

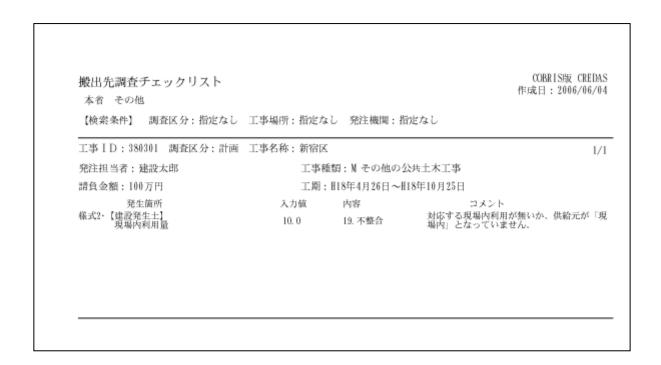


図. 搬出先調査チェックリスト(PDF 形式)

(2) 搬出先調査チェックリストの出力機能

- ① 公共工事発注後情報画面(TOP 画面)を表示します。
- ② 工事情報検索「文字)をクリックします。



③ 工事・文字検索条件設定を行います。

確認したい工事の検索条件を設定します。条件設定後、「確定」ボタンをクリックします。基本的に、検索結果一覧画面で、排出業者への連絡の行える工事は自機関の発注した工事のみになりますので、検索条件の発注機関選択では、自機関を選択してください。

4 チェックリストの内容確認画面を表示します。

工事一覧(文字検索)画面に表示された工事のうち、排出業者へ連絡を行いたい工事のチェックリストの確認状態の項目ボタンをクリックしてください。チェックリストの内容確認画面が表示されます。

※チェックリストの確認状態とは?

当該工事について、発注者の確認がどの状態かを表します。

未確認 : 初期状態

依頼中 : 発注者から排出業者へ連絡中の状態 確認待ち:排出業者から発注者へ連絡中の状態 確認済み:発注者の最終段階の確認が済んだ状態

.....

⑤ 「排出業者へ連絡」を実行します。

チェックリストの内容確認画面のコメントに修正内容等を記入し、「排出業者へ連絡」ボタンをクリックしてください。「排出業者へ連絡」ボタンをクリックすると、システム上と同画面で指定した電子メール宛に修正の依頼が送信されます。また、「排出業者へ連絡」ボタンをクリックした時点のチェックリストの確認状態は、「確認待ち」となります。

※電子メールアドレスについて

チェックリストの内容確認画面には、初期状態で当該工事を登録した排出業者のメールアドレスが表示されています、必要に応じて、メールアドレスの訂正を行ってください。また、(CC)にアドレスを入力しますと、同一の内容が同報で送信されます。

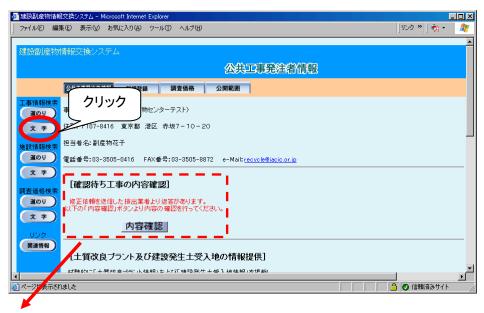
⑥ 排出業者へ修正等の依頼が送信されます。

「排出業者へ連絡」を実行することで、「チェックリストの内容確認」画面が自動的に閉じ、工事一覧(文字検索)画面が表示されます。該当工事のチェックリストの確認状態は、「依頼中」 となり、「依頼中」ボタンをクリックすると以下のようなチェックリストの内容確認画面が表示されます。



(3) 確認済みマークの付与機能

- ① 公共工事発注後情報画面(TOP)画面を表示します。
- ② 工事情報検索「文字)をクリックします。



※確認待ち工事の内容確認

「排出業者に連絡」機能で修正等の依頼を排出業者に行った後に、排出業者が当該工事について、確認・修正を行うとチェックリストの確認状態が「確認待ち」に変更されます。自機関が発注した工事について、「確認待ち」の工事があると TOP 画面に上記のような[確認待ち工事の内容確認]が表示され、「内容確認」ボタンをクリックすると、現在「確認待ち」の工事一覧が表示されます。

③ 工事・文字検索条件設定を行います。

確認したい工事の検索条件を設定します。条件設定後、「確定」ボタンをクリックします。基本的に、検索結果一覧画面で、排出業者への連絡の行える工事は自機関の発注した工事のみになりますので、検索条件の発注機関選択では、自機関を選択してください。

④ チェックリストの内容確認画面を表示します。

工事一覧(文字検索)画面に表示された工事のうち、排出業者へ連絡を行いたい工事のチェックリストの確認状態の項目ボタンをクリックしてください。チェックリストの内容確認画面が表示されます。

⑤ 「確認済みマーク」ボタンをクリックします。

当該工事の登録内容、排出業者からのコメント等を確認後、問題がない場合に「確認済みマーク」ボタンをクリックします。

「確認済みマーク」をクリックすることで、チェックリストの確認状態が確認済みに変更されます。

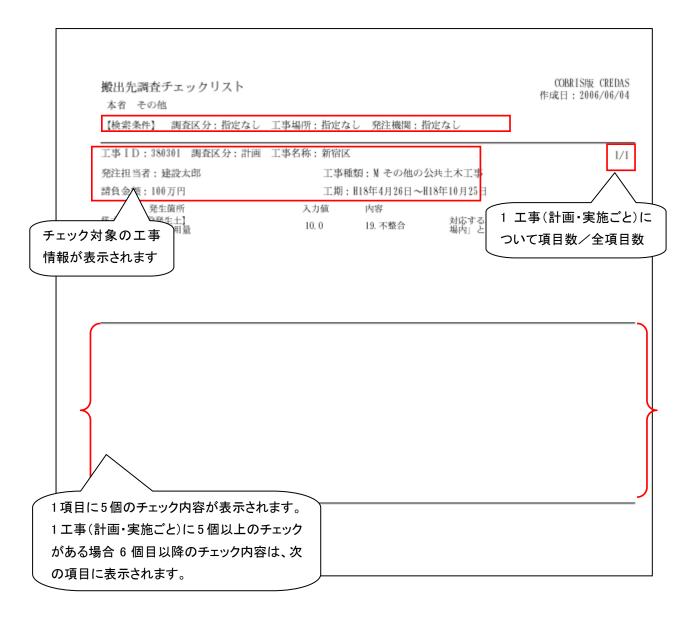
「確認済みマーク」が付与された工事は登録内容に問題がないことを示します。また、「確認済みマーク」ボタンをクリックすることで、排出業者へ該当工事が「確認済みマーク」が付与さ

れたことを知らせる、電子メールが送信されます。

※「確認済みマーク」が付与された工事について、データ更新を行うとチェックリストの確認状態が「確認済み」から「確認待ち」に変更されます。

【搬出先調査チェックリスト】

搬出先調査チェックリストは、以下の内容でダウンロードされます。



【データチェック内容】

搬出先調査チェックリストでチェックされる項目は以下のとおりになります。

コード	概要	詳細
1	空白	データが空白です。
2	数値	数値以外の文字が入っています。
3	カテコ゛リ	竣工年月日が H16 年度以外です。(対象は H16 年度竣工工事です。)
4	コート゛	コード表に存在しないか、使用できないコードです。
5	工事種別	建築系の工事以外に延床面積等が入力されています。
6	不一致	コードの関係が一致していません。
7	大小関係	大小関係が逆転しています。
8	空白対応	関連するデータが空白です。
9	レンジオーバー	データの再確認をして下さい。(異常値の疑いがあります。)
10	現場内利用	現場外搬出量があり、運搬距離が Okm となっています。
12	原単位	原単位基準値を超えています。
13	解体以外	解体工事で搬入があります。
14	距離オーバー	運搬距離の確認をして下さい。(距離が過大である可能性があります。)
15	隣県	運搬距離の確認をして下さい。
16	値不一致	品目と小分類から資材利用量と再生材利用量が一致していません。
17	工事種別・構造	「工事種別コード」と「構造」の関係が合いません。
18	品目•搬出先	搬出先を確認してください。(建設副産物の品目から不自然な搬出先です。)
19	不整合	対応する現場内利用が無いか、供給元が「現場内」となっていません。
20	現場内利用	現場内利用の供給元の住所が工事場所と一致していません。